

## 第4学年 音楽科学習指導案

日 時 平成27年10月29日(木) 公開授業Ⅱ

児 童 4年1組 男子14名 女子20名 計34名

指導者 川井 裕香

1 題材名 せんりつの重なりを感じ取ろう 教材「パレードホッホー」「ファランドール」「雨の公園」「もみじ」

### 2 題材について

#### (1) 題材について

本題材は学習指導要領のA表現(1)歌唱イ、ウ、エ、(2)器楽ア、イ、エ、B鑑賞ア、イ、ウ、共通事項(1)ア(ア)(イ)との関連を図り、指導を行っていくものである。特に、「互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと」「曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること」「音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと」共通事項の中の「旋律」「音の重なり」を重点化して指導していきたい。

本題材では、歌声や楽器の音を聴き合いながら、声や音を合わせて演奏する能力をさらに伸ばすとともに、旋律が重なり合う響きを味わうことができるようにする。また、表現と鑑賞を関連させて取り上げることで、旋律の反復や重なりが生み出す曲想を味わい、それを生かして楽曲の構造に気を付けて、音楽を聴くことができるようにしていく。この題材は、5・6年生の「いろいろな音のひびきを味わおう」「和音の美しさを味わおう」の学習につながるものである。

#### (2) 児童について

児童は、「子どもの世界」で対照的な2つの旋律を重ねる楽しさを体験した。「歌劇『魔笛』から『パパゲーノとパパゲーナの二重唱』では旋律の掛け合いや重なりを聴き取り、響きのおもしろさを感じ取りながら、情景を想像することができた。「陽気な船長」では旋律の違いに気付き、それぞれの旋律の特徴を生かした表現の工夫をするなど、重なり合う音を聴き合いながら、リコーダーで二重奏をすることができた。

1学期は、曲を聴いてどんな感じがするのかを書かせたり、発表させたりする学習を行い、児童は思ったことを文章で表現することはできるようになってきた。美しい声で歌ったり、美しい音でリコーダーを演奏したりすることに、大変意欲的な子ども達である。友達の発表を聞き、参考にすることで、聴き取ったことと感じ取ったことの双方を交えた感想を書いたり発表したりできるようになってきているが、まだ少数である。

#### (3) 指導にあたって

2つの対照的な旋律の特徴を、歌や身体表現等で感じ取ったり聴き取ったりしながら、旋律を重ねた時の楽しさや面白さを実感させたい。さらに、旋律の反復や重なりを言葉で表現させることで、楽曲のもつよさに気付かせたい。さらに、リコーダーの新しい奏法であるサミングの演奏の仕方を身に付け、輪奏によって音の重なり合いや響き合いの違いを感じ取らせていきたい。

「見通す」活動として、既習事項と結び付けたり、イメージをふくらませたりすることをしっかりと意識させたい。また、「振り返る」活動としては、ペアや全体で交流することにより、友達の表現のよさや工夫に気付かせることで自分の演奏に生かすことができるようになることを考える。

### 3 題材の目標

- 旋律の特徴や重なりに興味・関心をもち、進んで表現したり鑑賞したりしようとしている。  
【音楽への関心・意欲・態度】
- 旋律の特徴を生かし、旋律が重なり合う響きを感じ取りながら、互いの旋律が生きるように歌い方や演奏の仕方を工夫し、思いや意図をもっている。  
【音楽表現の創意工夫】
- 旋律の重なり合いを感じ取りながら、互いの歌声を聴いて声を合わせて歌ったり、息のつかい方や音色に気を付けてリコーダーを演奏したりしている。  
【音楽表現の技能】
- 旋律の特徴や反復、重なりによる曲想と変化を感じ取り、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。  
【鑑賞の能力】

### 4 指導計画 (せんりつの重なりを感じ取ろう：8時間扱い 本時 4/8)

次	時間	学 習 活 動
一	4	2つの旋律の特徴や重なり、掛け合いを感じ取りながら、歌ったり聴いたりする。(本時第4時)
二	2	サミングの演奏の仕方を知り、音の重なりを感じ取りながら、リコーダーで「雨の公園」を輪奏する。
三	2	曲想にふさわしくなるように表現を工夫し、二部合唱をする。

## 5 本時の指導について

### (1) 目標

「ファランドール」を聴き、旋律の重なり合いや掛け合いが生み出す響きの面白さや美しさを感じ取ることができる。

### (2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる。	Bに到達させるための手だて
鑑賞の能力	「ファランドール」を聴き、旋律の重なりや掛け合いを感じ取り、紹介カードに言葉で表し、演奏のよさに気づいている。	紹介カードを紹介し合い、友達の表現の良さから特徴に気づかせ、もう一度曲を聴き感じ取らせる。

### (3) 指導の構想

導入時の前時の学習で「聴き取ったこと」「感じ取ったこと」を想起させ、紹介カードに書く内容について見直しをもたせる。展開時には「感じたこと」が、どうしてそのように聴こえるのかを「聴き取ったこと」を根拠に、自分の意見をまとめさせる。その際、考えが深まるように、友達の発表をきく場面を設定する。

### (4) 展開

段階	学習活動	形態	○教師の働きかけと指導上の留意点 ●評価の観点（方法）☆見通す・振り返る活動
導入 7分	1. 「パレードホッポー」を歌う。 2. 前時の学習を想起する。「ファランドール」を聞いて想起したことを確認する。 3. 本時の課題を確認する。	全	○明るい声で歌うように支援し、楽しい雰囲気をつくる。  ☆前時に「ファランドール」を鑑賞して、聴き取ったこと・感じ取ったことについて想起させる。
せんりつがかけ合ったり、重なり合ったりして生まれる楽しさやおもしろさを紹介しよう。			
展開 33分	4. 曲の構造を確かめる。 ・それぞれの旋律が出てきたら、左右の手を挙げさせる。  5. 「ファランドール」を通して聴き、紹介カードを書く。 ・紹介カードに書く観点を示す。  6. 感想を聞き合う。	全  個  ペア 個 全	○前時の意見をもとに、「主に二つの旋律が出てくること」「二つの旋律が交互に出てくること」「最後は同時に演奏されていること」を確認する。  ○「パレードホッポー」等既習曲で同じような構造の曲を想起させる。  ○「聴き取ったこと」「感じたこと」を分けて、板書し、違いを明確に意識させる。 ☆「聴き取ったこと」「感じたこと」の二つを必ず入れて紹介カードを書かせることで、違いを明確に意識させる。  ○ペアで発表をし合い、お互いの紹介内容の良さを聞き合う。 ○発表を聞いて気付いたことなどを付け足させ、曲全体の特徴をつかませる。
「ファランドール」は、最初に「王の行進」が出てきます。その後、「馬のダンス」が出てきます。2つの旋律が掛け合いをしながら進み、最後には2つのせんりつが重なり合って終わります。重なり合うことで、力強く感じます。わたしは、重なり合った最後の部分が好きです。			
●【鑑賞の能力】 「聴き取ったこと」「感じたこと」の二つが入った紹介カードを書くことができる。（紹介カード）			
終末 5分	7. 本時の振り返りをする。	個	☆本時の活動を振り返り、自分の学びの評価を行う。
「ファランドール」には2つのせんりつが出てきて、重なり合うことで力強さや面白さが生まれることがわかりました。			
	8. 次時の学習を予告する。	全	○「雨の公園」を学習することを確認する。